

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第5回総会議事要旨

- 1 日時：令和4年5月10日（火） 13時30分～14時45分
- 2 場所：オンライン（Web会議システム Zoom）
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、佐波、柳生、大野（真城委員代理）、岡崎、
長瀬、舟橋（星川委員代理）、安部、福島、玄地、岡部（佐々木委員代理）、Li、岡島、石濱
陪席者：西田（防災科学技術研究所）、松本（〃）、倉谷（〃）、田代（〃）、高田（セコム）、小山（NTT）、
山本（電力中央研究所）、岩崎（産業技術総合研究所）、梅本（筑波大学）、木下（〃）、斉藤（〃）、
栗原（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

議事に先立ち、林会長から開会の挨拶があった。

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) 令和4年度年間活動計画について

遠藤副会長から、資料1に基づき、令和4年度年間活動計画に「Joint Seminar 減災との第3回共同シンポジウム（令和5年2月）」の計画を追加する旨の説明があり、承認された。また、「各参画機関と筑波大学の意見交換」を令和4年5月～7月に、「ピッチ会」を令和4年10月～12月に開催予定であることが確認された。

(2) 参画機関と筑波大学の意見交換の実施について

遠藤副会長から、資料2に基づき、意見交換の実施概要について説明があり、承認された。また、近日中に事務局から各参画機関へ、日程調整の依頼がある旨の予告があった。

(3) ピッチ会の実施について

遠藤副会長から、資料3に基づき、ピッチ会の実施概要について説明があり、具体的な共同研究の構想がない場合にも発表に参加できるよう、想定する発表内容に「共同研究に繋がるような情報提供」を加えることで承認された。

(4) その他

10月に開催するシンポジウムのテーマについて意見交換が行われ、主に次の意見があった。

- 過去のシンポジウムでは、防災・COVID-19関連のテーマが多かった。今後のテーマとしては、「レジリエンス」の概念がこれまで適用されてこなかった分野・今後うまく適応しうる分野を考えてみてはどうか。
- 「レジリエンス」という言葉が、まだ防災以外の分野に浸透しているとは言い難い。シンポジウムを通じて、レジリエンスが防災に限らないことを広める機会としてはどうか。

【報告事項】

(1) 令和 4 年度参画機関におけるインターンシップについて

遠藤副会長から、資料 4 に基づき、今年度リスク・レジリエンス工学学位プログラム所属学生のインターンシップを受け入れ予定の機関について報告があった。また、岡島委員から、コンソーシアムのインターンシップ申し合わせで定める「2 週間以上 3 ヶ月以下」に含まれない長期インターンシップ・研修等の有無について、今後、各参画機関に照会予定である旨の連絡があった。

(2) JST「共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT)」の申請について

遠藤副会長から、別冊資料に基づき、昨年度に引き続き防災科学技術研究所・筑波大学を中心に COI-NEXT への申請を予定しており、コンソーシアムを支援基盤組織として位置付けたい旨の説明があった。

(3) 第 20 回幹事会 (R4.4.11) について

遠藤副会長から、資料 5 に基づき、令和 4 年 4 月 11 日に開催された第 20 回幹事会の議事について報告があった。なお、幹事会で要望のあった「リスク工学研究会 (RERM)」の参画機関への録画公開について、岡島委員から、実現に向けて検討中のため、現状ではリアルタイム (オンライン) で参加して欲しい旨の補足説明があった。

(4) その他

特になし。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) その他

特になし。

【報告事項】

(1) コンソーシアム参画機関からの令和 4 年度入学者について

岡島委員から、資料 6 に基づき、今年度は参画機関からの現職の入学者はいなかったとの報告があった。なお、過去に参画機関に在籍していた社会人 1 名が博士後期課程に入学した旨の補足説明があった。

(2) 令和 4 年度指導体制について

岡島委員から、資料 7 に基づき、今年度協働大学院教員が指導する学生数について報告があった。また、参画機関所属者に限らず、周囲に学位取得に関心のある方がいれば、学位プログラムへの入学をお誘いして欲しい旨の依頼があった。

(3) 令和 4 年度コンソーシアム参画機関担当科目について

岡島委員から、資料 8 に基づき、今年度参画機関が担当する科目について報告があった。また、参画機関で実施したい授業等、授業に対する意見・要望があれば、岡島委員または事務局まで連絡して欲しい旨

の依頼があった。

(4) 令和4年度春学期における対面授業及びオンライン授業の実施について

岡島委員から、資料9-1～9-2に基づき、今年度春学期の授業は対面・オンライン・ハイブリッド方式のいずれかの形態で実施している旨の報告があった。また、協働大学院教員及び参画機関の非常勤講師が担当する授業については、世話人教員との相談のもと授業形態を決定している旨の補足説明があった。

(5) その他

特になし。

以上